

私たちの町役場、どこに建てよう。どんな役場が良い？ みんなで話し合いませんか。

「一宮町役場庁舎建設を考える集い」

日時 9月25日(日) 14:00~16:00

場所 ホテル 一宮シーサイドオーツカ フェニックスホール

内容 ・一宮町役場庁舎建設に関する意見、提案の発表
・討論会

(写真：現 一宮町役場庁舎)

どなたでもご参加いただけます。
皆さまのお越しをお待ち申し上げます。

意見発表者を募集しています。

庁舎建設についてお考えをお持ちの方、
ぜひご応募ください。

主催：未来の上総一宮をつくる会

(代表：馬淵 昌也 / 副代表：藤乗 一由)

詳しくは当会ホームページをご覧ください。

<http://miraino1nomiya.konjiki.jp>

(平成23年4月16日 朝日新聞)

一宮町 新庁舎計画白紙に 大震災で建設地再検討

今回の地震と津波被害で一宮町の新庁舎建設計画が白紙に戻り、建設場所の再検討を始めている。昨年8月に発定した町役場庁舎建設検討委員会は、建設場所を現在の庁舎敷地内としたが、震災後の3月23日に玉川孫一郎町長に提出された報告書では「大震災を教訓に再度検討願いたい」と結論を棚上げした。

玉川町長によると、住民からは、もっと内陸部に建設地として検討。進捗がつか

「一定の広さを確保できるなどの理由から、今年2月の段階では現庁舎敷地が適地となった。現庁舎は海から約2.7キロ、町では1677年に高さ6.8メートルの津波被害があったが、現庁舎の位置は被害地域をわずかに離れている。だが、今回は10メートル以上の津波が各地を襲った。そのため不安がある」と。そのため不安があることから、役場内に庁舎建設推進委員会を設置して、建設場所を再検討する意向を示した。玉川町長は「庁舎は防災の拠点になるため、早急に整備したい」と話している。

(高木和男)

意見発表 応募要領

募集チーム数 5チーム

発表形式 一人または複数人による
プレゼンテーション

持ち時間 1チーム 10分以内

必須検討内容

- ①建設場所および選定理由
- ②房総沖地震を想定した防災の考え方
- ③今後のまちづくりとの関連について

募集締め切り 8月31日

応募必要資料 住所・氏名・ご主張の要約
(A4一枚程度)

提出先 〒299-4301 一宮町一宮 3604-1

未来の上総一宮をつくる会 福岡 庸一

TEL/FAX 0475-42-4211

メール miraino1nomiya@yahoo.co.jp

一宮町役場庁舎建設検討委員会について

平成22年8月2日～翌3月23日まで計8回の委員会が開かれました。検討および確認した内容は以下のとおり。

1. 本委員会は町長の個人的な諮問機関である
2. 現庁舎は昭和42年竣工で耐震上問題がある
3. 建設場所は東北関東大震災の教訓を生かし白紙とする(3月11日以前は現状敷地が最有力候補地とされた)
4. できるだけ借金をせずに建設する
5. 議場は併設するが運用形態(専用議場か多目的利用か)に関しては今後議論を要する
6. あらゆる年齢・健康状態の人が利用しやすく省エネに配慮された合理的運営のできる施設であること
7. 庁舎建設は地元業者が携われるしくみとするべき

※委員会での資料等は「一宮町ホームページ」で。

<http://www.town.ichinomiya.chiba.jp/info/gyosei/963.html>